

原稿の募集・採否

1. 「原著論文」「症例と治験」の原稿を募集しております。

原著論文：①関節外科に対する新しい角度からの研究論文、新しい手術手技を用いた研究論文
②関節に関連する基礎研究論文、など
症例と治験：関節外科に関する最新で珍しく教育的な症例についての簡潔な報告

2. 本文(文献を含む)・図表とも 400 字詰原稿用紙に換算し下記の枚数以内でお願いいたします。図(写真、シェーマ、グラフなど)と表は、1 点を 400 字詰原稿用紙 1 枚に換算してください。

原著論文：本文 10 ～ 15 枚、図表 10 ～ 15 枚以内
症例と治験：本文 5 ～ 7 枚、図表 5 枚以内

3. 他誌に掲載および投稿中のものはご遠慮ください。
4. 原稿の採否は編集委員会で決定いたします。また、採用原稿については、編集方針に従い編集委員より原稿の加筆、削除などをお願いすることがありますのであらかじめご了承ください。

執筆要綱

表 紙

「原著論文」「症例と治験」については下記の体裁でお願いいたします。

表題*
著者名**
本文の要約(100 ～ 200 字)
脚注：英文タイトル、ローマ字綴著者名・所属、Key words

[脚注例] *英文タイトル
** 1 SUZUKI Ichiro：〇〇大学整形外科
2 TANAKA Yuji：〇〇病院整形外科
Key words：日本語(英語)併記で 5 点以内

本 文

1. 専門用語以外は常用漢字、新仮名遣いで簡潔明瞭に記述してください。
2. 外国語はできるかぎり日本語訳を添えてください。ただし、外国語名(人名等)は原語を用いてください。
3. お原稿は、プリントアウトしたものととも、記録メディアに Word ファイルもしくはテキストファイル形式に保存したデータを入れてお送りください。
4. 数字は算用数字を用い、数量単位は CGS 単位で m, cm, cm², mL, dL, kg, mg 等を用いてください。

図 表

1. 図表には説明文を入れてください。
2. 図(写真、シェーマ、グラフ等)の番号は、
図 1, 図 2, ……., …….,
表の番号は、
表 1, 表 2, ……., …….,
と表記し、本文右欄外に挿入箇所を明記してください。
3. 写真は鮮明なものを使用してください。なお、データでも結構です。

4. 写真上に矢印・文字が必要な場合は、PowerPoint などのアプリケーションを用いて、配置してください。

文 献

1. 文献の記載順序は初出順といたします。
2. 本文中の引用箇所には肩番号(右肩に¹⁾～³⁾)を付して照合してください。
3. 文献の書き方は次のように統一してください。

雑誌の場合

著者名(姓を先に). 表題. 誌名 発行年; 巻数: 頁.
1) Justy M, Bragdon CR, Lee K, et al. Surface damage to cobalt-chrome femoral head prostheses. J Bone Joint Surg Br 1994; 76: 73-7.
2) 山本博司. 変革の時代に対応すべき整形外科治療. 日整会誌 2004; 78: 1-7.

書籍の場合

著者名(姓を先に). 表題. 書名. 版. 編者. 発行地: 発行者(社); 発行年. 引用頁.
3) Ganong WF. Review of medical physiology. 6th ed. Tokyo: Lange Medical Publications; 1973. p18-31.
4) 伊藤博元. 肩関節および肩甲帯の発生、解剖、機能. 図説新肩の臨床. 高岸憲二編. 東京: メジカルビュー社; 2006. p2-16.

投稿に際しては、査読のために原稿、写真・図・表とも正副 2 部をお送りください。

著作権について

本誌に掲載される著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、譲渡権等は、(株)メジカルビュー社に譲渡されたものいたします。

引用・転載の許諾について

他の著作物からの引用・転載については、著作権保護のため元出版社および原著作者の許諾が必要です。あらかじめ許諾を得てください。また、引用・転載に際して、転載料が発生した場合は、「著作に要する費用」として、著者が負担するものいたします。

校 正

著者校正は原則として 1 回行います。共著の場合は校正担当者を明記してください。

掲載誌

著者には本誌(掲載誌)1 部を贈呈いたします。それ以上ご希望の場合には実費をいただきます。

原稿送付先

1. 原稿は下記宛書留郵便にてお送りください。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30
メジカルビュー社「関節外科」編集部

2. 郵送中の紛失などに対処するため、お手許にコピーを保存されるようお願いいたします。